

平成30年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

(個人留学による帰国報告)

●氏名

A Tさん

●留学先

国/都市：米国/ペンシルバニア州 Hershey

外国の高校：Hershey High School

●留学期間

2018年8月26日～2019年6月26日

●留学先での活動、留学で学んだこと

・滞在地(Hershey, Pennsylvania)

ペンシルバニア州中部に位置しており、フィラデルフィアから車で1時間ほどの緑豊かな町。ハーシーチョコレートで有名な、治安が良く、観光業が盛んな街です。アーミッシュと呼ばれる現代的で便利なもの(車、農業機械など)を使わずに暮らす人々のコミュニティや、南北戦争の激戦地であるゲティスバーグなどが近くにあり、とても楽しく過ごすことができます。

・滞在先での活動

「一瞬も無駄にしない」と心に刻んで臨んだ留學生活、つらいこともありましたが、たくさん笑い、たくさん学び、とても充実したものとなりました。学校では、クラブや部活動に参加し、友達を作り、楽しい時を過ごすことができました。秋はクロスカントリー、冬はミュージカル、春は陸上部、一年を通じて、Key club (ユニセフ)、Youth and Government club (YMCA)に所属しました。Key club では、主に地域ボランティア活動を行い、Youth and Government club では、司法部門に参加し、テーマごとに賛成か反対かに別れ、ディベートを行いました。州大会に参加することもでき、実際に州の最高裁判所に入り、議論を行いました。この経験は、アメリカの政治に触れる良い機会であり、自分の英語力に自信をつける素晴らしいものとなりました。

クロスカントリーをはじめとする運動部の活動では、日本の部活動との違いにとっても驚かされました。練習は、土日を除き毎日きっちり2時間で、毎週1回平日の放課後に大会があり、効率的に練習が行われているなという印象を受けました。アメリカでは、部活内で上下関係を作らないので、下級生が部活を仕切っていたり、上級生に向けてアドバイスをしていたり、学年が違う親友を持つ子がかなりいたり、とても新鮮でした。ボランティア活動の中で印象に残っているのは、「walk for the clean water」というイベントで、key club 主催で、アフリカで水を得るために何キロも歩かなくてはいけない人たちのために、私達が歩いてお金を集め、寄付するというイベントでした。

参加費用やTシャツ販売、募金活動などにより、20万円ほど集めることができました。生徒主体のボランティアがとても盛んで、その一つ一つに大きなやりがいと、魅力を感じる事が出来

ました。

日本との違いを大きく感じたのは、どの位家族に時間を割くかという点です。アメリカは、日本より家族優先で物事を考えると思います。どんなに仕事が、学校が忙しくても、夕食は、ほぼ毎日一緒にする家庭が多いとホストファミリーが教えてくれました。日本の私の家では、それぞれの予定が忙しかったり、姉は、受験勉強のため塾に遅くまで居たりと、なかなか一緒にの時間を取るのが難しいという状態でした。ホストファミリーは毎回、祝日、季節のイベントで、いどこ、祖父母などが全員、食事をピクニック形式で共にするという恒例行事を持っていて、それらは、一番楽しかった思い出の一つです。

他の留学生との交流は、私の視野を大きく広げてくれました。私のホストスクールには、私の他にタイ、トルコ、ヨルダンから、3人の留学生がいて、彼らと話す時間はとても興味深かったです。アメリカ史のクラスでは、留学生として出身国についてプレゼンテーションをする時間を頂き、日本を知ってもらえる機会を作ることができ、また、他の留学生の出身国についてもっと知ることが出来ました。特にヨルダン出身の子とは、とても親しくなることが出来ました。最初はヨルダンという国がどこにあるのかも知りませんでした。話していくうちに、シリアの近くで多くの難民を受け入れている事実や、イスラム文化圏の生活、食事なども知ることができて、今は、お互いの国を訪ね合う約束をしているほどです。異なる文化を知る楽しさ、大切さを知りました。

・留学で学んだこと

私が当たり前と思って過ごしていたことは、当たり前ではなく、とてもありがたいことなのだと気づきました。アメリカでは、難民問題や貧富の格差が大きな問題として取り上げられていて、それらについて学んでいくうえで、日本で生まれ、教育を受けて、留学に行きたいと思えること、実際に行けたことがどんなに恵まれていることかと実感しました。世界には自分のやりたいことができない環境下で暮らしている人がいるということを私たちは決して忘れてはいけないと思いました。

・今後への活かし方

英語をさらに学んだことで、色々な国の人と交流を持つことが出来ました。また、色々な言語に触れる機会があり、言語学習のおもしろさに気が付くことができました。そのことから、第二外国語習得への興味、意欲が湧いたため、これから学び始めていこうと考えています。

ボランティア活動をたくさんしたことにより、それによって得られる達成感や人助けのやりがいを知りました。なので、これからも地域ボランティア活動に積極的に参加して、地域に貢献していきたいと思います。

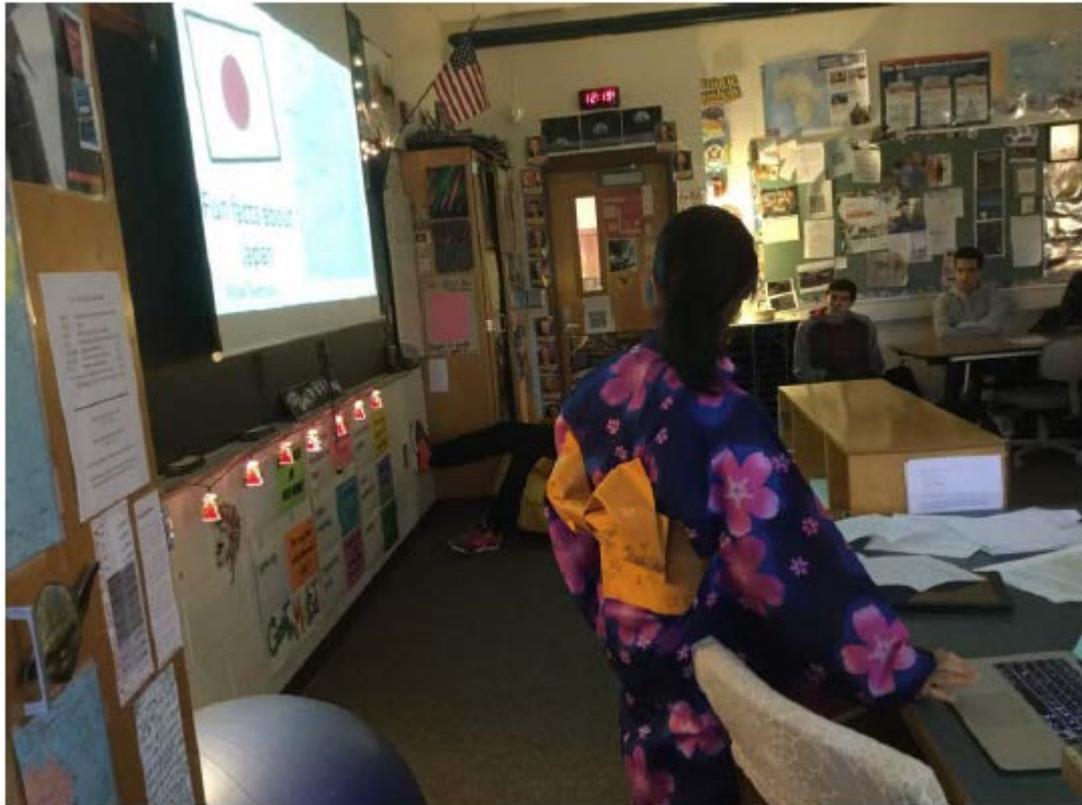
留学に行く前から海外に興味はありましたが、そのころ海外と言われて連想するものは、アメリカ、ヨーロッパなどの先進国でした。ですが今は、視野が広がったことにより、身の回りのアジアもとても興味深く、面白いということに気が付きました。なので、今後はもっとアジア地域の文化、産業、日本との関わりなどについて学んでいきたいと思います。

・最後に

この留学をしたという決断に対して後悔は、一ミリもしていません。この約十か月は私を大きく成長させてくれました。留学に送り出してくれた、家族、友達、支えてくれた学校の先生方、そして大きな支援を下さった横浜市世界を目指す若者応援事業の皆様、スポンサーの皆様から感謝をしています。素晴らしい経験をありがとうございました。



↑フィラデルフィアでは、映画「ロッキー」で有名な階段を駆け上りました。



↑アメリカ史のクラスでのプレゼンテーションの様子



↑クリスマスの時、ツリーの下は子供たちへのプレゼントで埋め尽くされていました。



↑アメリカ最後の朝、国旗にメッセージを書き、感謝の気持ちを伝えました。
ホストファミリーはとても喜んでくれました。